

## 政策評価調書（個別票①-1）

## 【政策ごとの予算額等】

政策名	的確な情報収集及び分析、並びに情報及び分析の政策決定ラインへの提供		評価方式	総合	番号	10
歳出予算額（千円）	20年度	21年度	22年度	23年度要求額		
（ 当 初 ）	594,092	567,554	535,241	540,381		
（ 補 正 後 ）	594,084	567,554				
前年度繰越額（千円）	0	0				
予備費使用額（千円）	0	0				
流用等増△減額（千円）	0	0				
歳出予算現額（千円）	594,084	567,554				
支出済歳出額（千円）	562,164	505,283				
翌年度繰越額（千円）	0	0				
不用額（千円）	31,920	62,271				
達成すべき目標及び目標の達成度合いの測定方法	個別票②のとおり。					
政策評価結果を受けて改善すべき点	情報収集活動の専門性の更なる向上、衛星画像や公開情報の収集・分析活動の強化、及び収集された情報を有効に活用し分析に役立てるための基盤を強化する。					
評価結果の予算要求等への反映状況	的確な情報収集及び分析能力の強化、及び政策決定ラインへの情報及び分析の適時な提供のため、今後とも体制の充実に努めるべく、在外公館に対する収集すべき情報に関する本省側の関心事項・問題意識の的確な伝達、在外公館職員の任国内外への出張による情報収集活動の活発化、新たな情報源・情報収集手法の開拓、衛星画像の一層の活用、外部有識者等の知見の活用、諸外国との協力強化、及び職員に対する研修の実施等に必要の予算を要求する。					

政策評価調書（個別票①-2）

【政策に含まれる事項の整理】

政策名		的確な情報収集及び分析、並びに情報及び分析の政策決定ラインへの提供				番号	10		(千円)
		予 算 科 目						政策評価結果等 による見直し額	
整理番号	会計	組織/勘定	項	事項	22年度 当初予算額	23年度 要求額			
対応表において● となっているもの	A	1	一般	外務本省	分野別外交費	国際情勢に関する情報収集・分析・調査に必要な経費	517,884	526,797	
	A	2	一般	在外公館	分野別外交費	国際情勢に関する情報収集・分析・調査に必要な経費	17,357	13,584	
	A	3							
	A	4							
	小計						535,241	540,381	
対応表において◆ となっているもの	B	1							
	B	2							
	B	3							
	B	4							
	小計								
対応表において○ となっているもの	C	1					<	>	
	C	2					<	>	
	C	3					<	>	
	C	4					<	>	
	小計								
対応表において◇ となっているもの	D	1					<	>	
	D	2					<	>	
	D	3					<	>	
	D	4					<	>	
	小計								
合計						535,241	540,381		

政策評価調書（個別票①-3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名	的確な情報収集及び分析，並びに情報及び分析の政策決定ラインへの提供				番号	10		
事務事業名	整理番号	予算額（千円）			見直し額（A） （B）+（C）-重複	うち政策評価結果の反映による見直し額（B）	うち執行状況の反映による見直し額（C）	政策評価結果又は執行状況の要求への反映内容
		22年度当初予算額	23年度要求額	増減				
合計								

## 政策評価調書（個別票②）（政策評価書要旨）

評価実施時期：平成22年8月

担当部局名：外務省国際情報統括官組織

政策名	的確な情報収集及び分析、並びに情報及び分析の政策決定ラインへの提供  (政策評価書[施策レベル評価版] 305頁)	番号	10
政策の概要	<p>①在外公館の情報収集体制の整備及び支援の提供等在外公館の情報収集活動強化のための措置の実施</p> <p>②本省を含む外務省全体の情報収集・分析能力強化のための諸措置の実施</p> <p>③職員のための研修等の実施</p> <p>④政策決定ラインへの適時の情報及び情報分析の提供</p>		
政策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等	<p><b>【評価結果の概要】</b></p> <p><b>(総合的評価)</b></p> <p>「目標の達成に向けて進展があった。」 ★★★☆☆</p> <p>(理由)</p> <p>(1) 省内政策部門との意見交換等を通じた省内の関心の高い情報の把握、重点的に実施する情報収集のテーマの在外公館への伝達・指示、在外公館職員による任国内外への出張、新たな情報源の開拓等により、的確な情報収集に向けて想定された成果があった。</p> <p>(2) 外部有識者等の知見の一層の活用、職員のための研修、諸外国との協力、情報コミュニティ省庁との情報共有の強化等により、情勢分析ペーパーの質の向上を図ることができた。</p> <p>(3) 政策部門に対する、時宜を得た報告の実施により、外交・安全保障を中心とする政策の立案・実施への寄与を増大させることができた。</p> <p><b>(必要性)</b></p> <p>(1) 複雑かつ流動的な国際情勢の中で、我が国及び国民の安全と繁栄を確保するための戦略的な外交を展開するためには、外交・安全保障政策の決定者が正確かつ時宜を得た国際情勢に関する情報を把握することが不可欠である。</p> <p>(2) そのためには、情報の収集、分析、政策決定ラインへの提供という一連の業務を実施する体制を整備・強化し、効率的に運用することにより、外交・安全保障政策の立案・実施に資する情報及び情報分析を政策決定者に伝達することが必要である。</p> <p><b>(効率性)</b></p> <p>限られた予算や人的投入資源を効率的に活用し、流動的かつ多岐に渡る国際情勢に関する情報の収集と分析を行い、官邸や大臣をはじめとする省内幹部に対する適時適切な情報提供を行い施策が進展した。このように、投入資源量に見合った成果が得られたことから、とられた手段は適切かつ効率的であった。</p> <p>&lt;無駄削減（経費節約のための取組）&gt;</p> <p>職員のための研修を一部見直した他、出張等においては格安航空運賃を積極的に利用し経費の削減を行った（22年度予算にも反映済み）。また、これまで随意契約で行ってきた業務を競争性のある契約に移行した。</p>		

**(有効性)**

(1) 的確な情報収集のためには、在外公館に対し収集すべき情報に関する本省側の関心事項・問題意識を的確に伝えるとともに、在外公館職員の任国内外への出張等により情報収集活動を活性化させ、さらに、新たな情報源及び情報収集手法の開拓、衛星画像の活用、各情報源に対する評価の実施などにより、情報収集能力を強化することが必要である。また、外部有識者等の知見の一層の活用、情報コミュニティ省庁間の情報共有の強化、諸外国との協力強化等により、情報分析能力を強化することが有効である。更に、職員に対し高度情報保全や分析分野での合同研修・人事交流等の実施を通じて専門性の向上を図ることが有効である。

(2) また、情報及び分析結果を政策決定ラインに適時に提供するためには、外務大臣等の政府幹部への報告の実施が有効である。

**(反映の方向性)**

的確な情報収集及び分析能力の一層の強化、及び政策決定ラインへの情報及び分析の時宜を得た提供のため、今後とも一層の体制の充実に努める。

【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】

**(目標の達成状況)**

[目標] 情報収集及び情報分析能力の強化、並びに政策決定ラインへの適時の情報及び情報分析の提供を行うことにより、外交政策の立案・実施に寄与すること

評価の切り口1：情報収集及び情報分析能力の強化

情報収集能力については、今後注目すべき情報収集の重点事項を提示することにより、外務大臣をはじめ、省内政策部門及び在外公館と情報関心を共有し、本省及び在外公館における情報収集体制の強化を行った。また、特定重要テーマに関する会議等を開催し本省側の関心事項・問題意識を在外公館に対して提示し、在外公館の情報収集活動の指針を明確にした。さらに、在外公館においては、在外公館職員の任国内外への出張を指示し、情報収集活動を強化した。

情報分析能力については、分析に関する国内外の専門家との意見交換（含む訪日招聘）機会の増大、情報コミュニティ省庁間における情報共有の促進等の措置を講じた。また、専門分析員採用による外部の知見の活用等の措置を講じた。

評価の切り口2：外交政策の立案・実施への寄与の拡大

総理官邸を含む政策決定ラインへの定期的な報告を実施し、また収集すべき情報に関する政策部局との意見交換を推進する等、省内政策部局との連携を強化した。また、省内の各種治安・危機管理関連の会議に出席し、関連情報を提供した。さらに、分析ペーパーに添付した評価シートを通じ政策部局等の意見を聴取することにより、政策部局のニーズを把握し、適時性のあつた的確な分析課題を設定した。

関係する施政方針演説等内閣の重要政策（主なもの）	施政方針演説等	年月日	記載事項（抜粋）
	特になし		